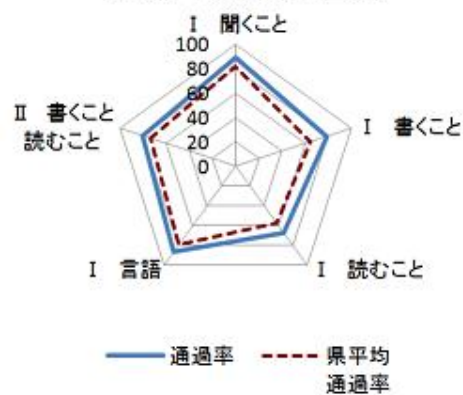


指導方法等の改善計画について〔国語〕

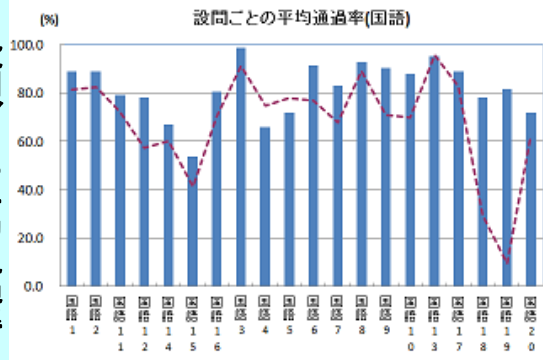
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 81.7%, 県 73.7%)

領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)

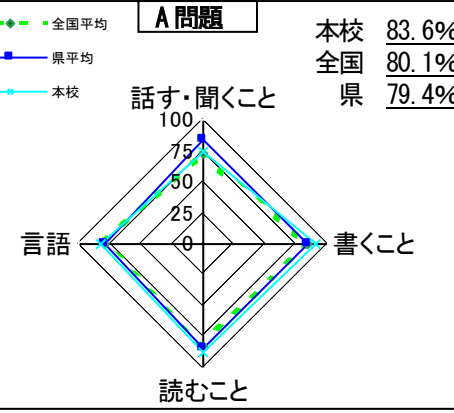


設問別平均通過率



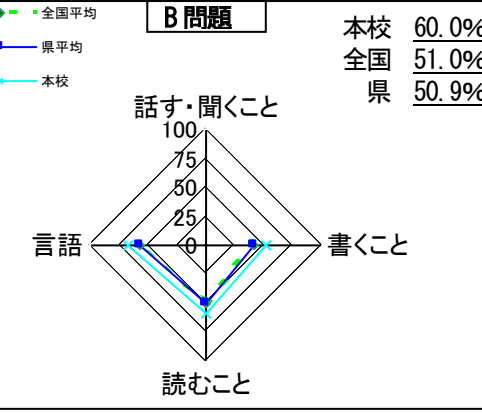
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題



本校 83.6%
全国 80.1%
県 79.4%

B問題



本校 60.0%
全国 51.0%
県 50.9%

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎文章の展開を確かめながら要旨を捉えることに課題がある。
(通過率 53.7%)

◇複数の資料を比較して読み、それぞれの資料の要旨を捉える問題に課題がある。
(通過率31.9%) 2つの資料を読み、それぞれの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する問題で、選択肢の一部分を中心的な部分として捉え選んでいる生徒が68.1%いる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

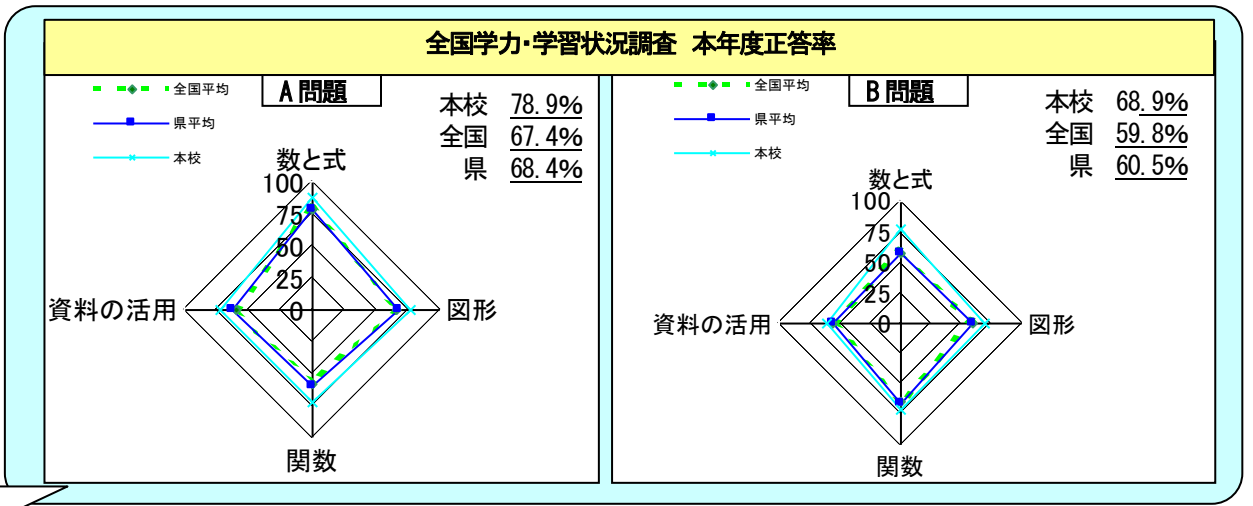
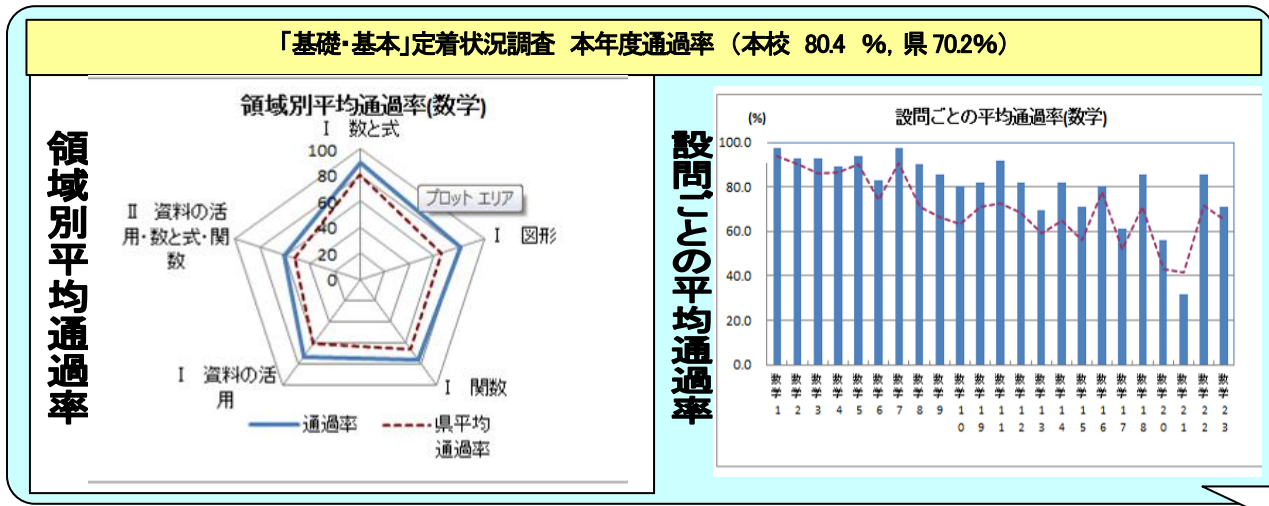
◎文章を読みながら、キーワードに注意して段落ごとに要約させることを定期的に行い、文章の要旨を的確に捉える力を育てる。また読み取りの助けになるワークシートを作成する。

◇文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、段落ごとに内容を捉えたり、大きな意味のまとまりに分けて文章全体の役割を考えながら要旨をまとめる活動を定期的に行うことで、要旨を捉える力をつける。また、資料の構成や書き方の特徴についてペアで考えたり、重要な語句を基に段落を1文でまとめグループで交流することで、複数の情報の内容を正確に捉える力を育てる。
※小中一貫した取組については、内容や要旨を的確に捉える力をつけるために、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら読み、キーワードを使って段落を要約し要旨をまとめることを継続的に行う。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験		2年生 実力試験	2年生 H26「基礎・基本」	2年生 学年末試験
目標値		60.0%	65.0%		70.0%	70.0%	75.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H26「全国学力」	3年生 学年末試験	
目標値		40.0%	45.0%		50.0%	60.0%	
実施後数値							

指導方法等の改善計画について [数学]



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎円柱と球の体積の関係を理解できていない。円柱の体積の $1/2$ と解答する割合が 25.6%であった。(通過率 69.5%)

◎総度数の異なる2つの資料を比較するために相対度数を利用することは理解できているが、説明が不十分である。(通過率 56.1%)

◇グラフから速さを読みとり説明する問題で、その問題に適した答え方ができていない。「道のりを時間でわればいい」といった表現で具体的な数値で解答できていない。(通過率 44.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎円柱と円錐、角柱と角錐の体積の関係は具体物を使って指導できたが、球の説明が十分にできていなかった。球についても具体物の提示だけでなく、映像や操作活動等を取り入れることを通して理解させる。

◎相対度数を利用する目的を再度理解させるとともに、ペアや小グループ内で比較した内容を説明し伝えあう活動を増やし、説明のポイントを押える練習を繰り返し行わせる。

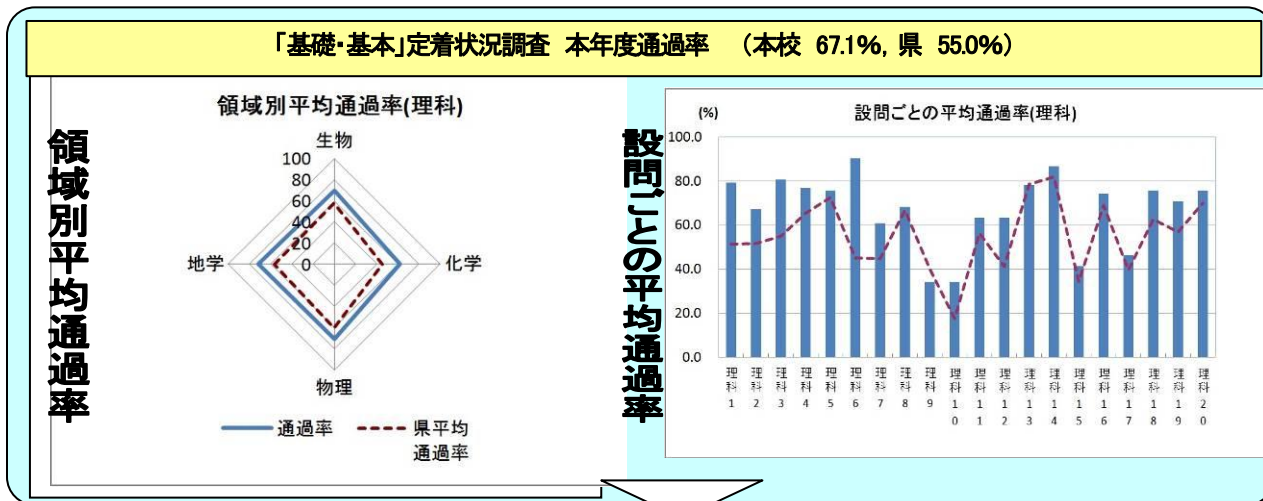
◇グラフから傾き、式を求める練習を繰り返し行うと同時に、日常の問題から式や表、グラフを求め、どのように求めたか説明する活動を小グループ等で取り入れ問題に適した表現の仕方を理解させる。

※小中一貫した取り組みについては、習得した知識、内容を説明できるようにするために、ペア、グループでの話し合い活動を定期的に取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生 H26「基礎基本」	2年生 学年末試験
目標値		60.0%	65.0%			70.0%	75.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 実力テスト	3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H26「全国学力」	3年生 学年末試験	
目標値	50.0%	55.0%	60.0%		65.0%	70.0%	
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔理科〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①白い結晶が塩化ナトリウムの結晶かどうか確認する方法を見いだすことができていない (通過率34.1%)

◎再結晶の仕組みの理解や、溶解度曲線の意味・グラフの読み取りが不十分であり、塩化ナトリウムの結晶を取り出すことができない理由を溶解度曲線から見いだす問題に課題がある。(通過率34.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

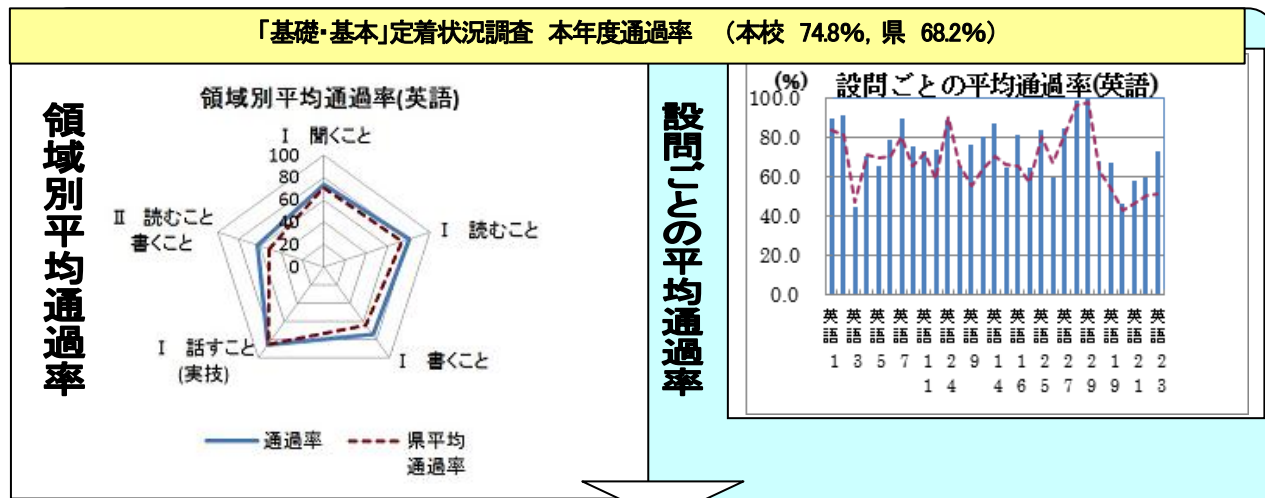
◎①身の回りの物質の性質についての観察・実験を行い、物質の様々な性質を関連づけて理解させるとともに、観察・実験の操作の意味を十分理解させる。

◎②観察・実験を行って得られた考え方や結果を、グラフ・図や表として表現したり、グラフ・図や表から読み取ったりする学習活動を多く取り入れる。

※小中一貫した取組については、小学校5年生で“物質が水に溶ける量には限度があり、物質が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物質によって違うこと、この性質を利用して溶けている物を取り出すことができること”を実験により確認している。この現象を、物質を粒子としてとらえる概念の形成へつなげるため、中学校では、実物やモデルを用いて視覚的にとらえさせる。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 課題				2年生 H26「基礎・基本」	1年生 H26「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値	65.0%				75.0%	60.0%	80.0%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 課題				2年生 H26「基礎・基本」	1年生 H26「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値	50.0%				60.0%	50.0%	70.0%
実施後数値							



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①正しい語順を用いて、be 動詞の疑問文を構成する知識が十分に身につけていない。(65.9%)

◇②英語の資料や文章を読んで必要な情報を読み取り、その情報を用いて英語で文章を書くことができない。(通過率46.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎①・板書を視覚的にわかりやすくするため、カードを活用し、文構造を理解させ、ドリル学習を行う。
 ・既習の構文を定着させるため、毎時間のウォームアップで様々な Q&A を繰り返し行う。
 またウォームアップでの Q&A の答えをノートに書かせ、定期テストにも出題する。

◇②英語の資料や英文を読むとき、あらすじを追いつながりながら読む習慣をつけさせる。
 そのためには①主語の動詞の関係、②5W1H などに注目させながら、英文を読ませる。

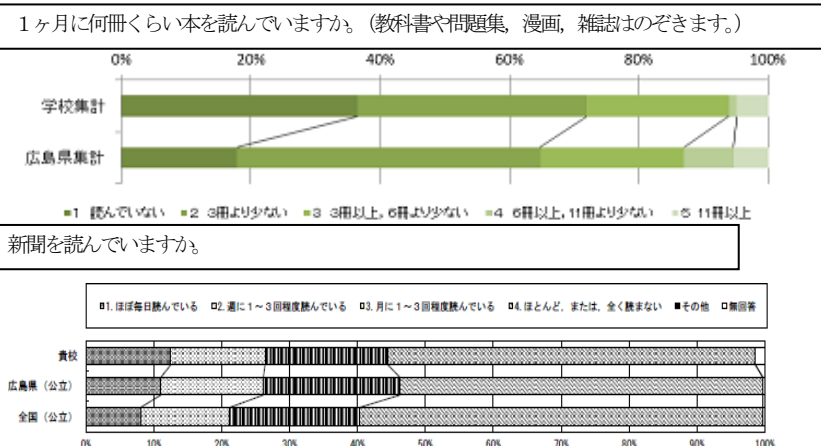
※コミュニケーション活動において、第5・第6学年では単元の第1時はJTE(中学校教員)による乗り入れ授業を行うことで、より意欲的に学習に取り組めるようにする。また「Eye Contact」「Big Smile」「Clear Voice」を大切に指導を継続していく。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験		2年生 H26「基礎・基本」	2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		70.0%	75.0%		80.0%	85.0%	90.0%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験		2年生 H26「基礎・基本」	2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		50.0%	55.0%		60.0%	60.0%	65.0%
実施後数値							

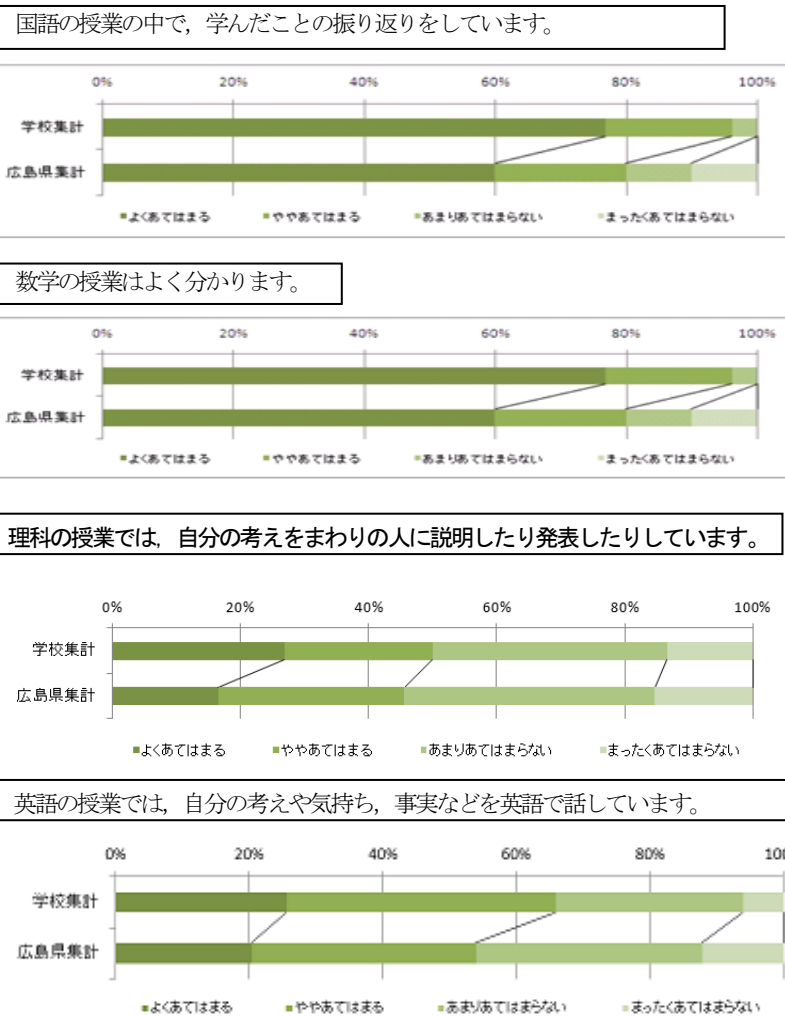
2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習



	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	1ヶ月の読書冊数が0～3冊以下の生徒の割合が高い。(71.7%)	未読者をなくすため、定期的にブックトークを実施する。帰りの会で「心に残った本」を紹介する1分間スピーチを行う。	2	未読者30.0%以下	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
全国	ほぼ毎日新聞を読んでいる生徒の割合が低い。(12.5%) ほとんど、または全く読まない生徒の割合が54.2%である。	朝の会で新聞記事より話題を選びスピーチを行う。グループでテーマを決め、新聞から情報を収集し切り抜き新聞を作成する。	3	70%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		

(2) 教科



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。(58.5%)	授業の終わりや単元の終わりにノートやカードに振り返りを自分の言葉で書かせる。	2	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
	全国 目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている生徒の割合が低い。(51.4%)	新聞記事などを読み、意見を書く課題に取り組ませる。	3	70.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
数学	基礎・基本 数学の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、どのような場面で使えるか考えたりしています。(70.7%)	単元の導入で様々な日常事象を取り上げる。また、単元末に日常との関わりのある問題に取り組ませる。	2	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
	全国 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えます。(58.3%)	日常に関連する問題に取り組ませる。また、日常の事象を参考に問題を作成したり、レポートを作成したりする活動を取り入れる。	3	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
理科	基礎・基本 自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしようとする生徒の割合が低い。(50.0%)	仮説を検証するための実験を計画し、実験結果をもとに、分かったことを整理し、自分で考察を導き出す機会を増やしていく。ペア学習やグループ学習など、考察を深める活動を積極的に取り入れる。	2	60.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
英語	基礎・基本 英語の授業では、自分の考えや思いを話しています。(56.9%)	帯学習の中にペアによるsmall chatを取り入れる。また感想や意見を交流する機会を計画的に設ける。	2	70.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		